



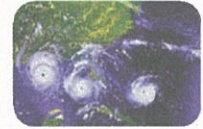
中富地区社協だより



発行：中川富岡地区社会福祉協議会 発行責任者：会長 柳井洋 編集責任者：広報部会長 山口修 連絡先 (0438) 63-3888

台風で敬老会が中止に

去る9月16日に開催を予定した「中富地区敬老会」は、予期せぬ大型台風の襲来を受けて、来場者並びに出演者の安全確保のため中止させていただきました。今回の敬老会は第21回の予定でしたが、過去台風による中止は初めての事です。多くの皆様を期待をされていたと思いますが残念でした。また、中川小学校の皆様による演技をはじめ、多くの出演予定者の方々には早くからの出演依頼を快くお引き受けいただき感謝申し上げます。会場ですばらしい演技を披露していただきましたのですが本当に残念でした。是非、来年の敬老会をご期待ください。



中富いきいき料理教室を開催

去る10月18日(金)開催の中富地区社協主催による料理教室は、今年で第2回目の実施となります。当日午前9時から富岡分館調理室で賑やかな教室が開催された。参加者は多くが女性で、高齢者スポーツ大会と重なったこともあり、男性は3名でした。今回は「元気でニコニコクッキング」を料理のテーマとして、その内容は減塩料理メニューの5品で、誰にも簡単にできるものでした。どのグル



ープもリーダーの指導の下に和気あいあいと和やかに調理ができ、美味しそうな料理が完成し、その後、参加者全員で試食をした。試食後に「もう少し味が、濃いほうがよかった。」とか「皆さんと一緒にできてよかったです。おいしかった。」との感想があった。

大網白里市へ先進地視察研修

中富地区社会福祉協議会の視察研修が11月7日(木)に大網白里市社会福祉協議会増穂支部を訪問して実施された。当日は、役員、事業推進員及び給食ボランティアの総勢38名の参加となった。平川公民館を出発して、圏央道の内回りで茂原北インターから、大網白里市中部コミュニティセンターへ到着して、直ちに研修となった。増穂支部では大網白里市の「コスモスプラン」を柱として、敬老会、ふくしまつり、いきいきサロン、学校支援、地域住民の相互交流等地域福祉に関する様々な事業を展開しており、それらの具体的な実施方法や苦労話等を聞くことができた。特に、なかよし、いきいき及びふれあいの3部会を設置して、地域住民の健康、親睦や交流の活動を活発に行い、地域福祉活動によるまちづくりが展開されていた。中富地区社協の今後のあり方を考



テイクアウト開催

中富地区住民会議「中富ふれあいの会」によるテイクアウトが、8月17日(土)に富岡分館で実施され、中富地区の小学生58名が参加した。当日は、参加者が炎天下の中でmy竹コップ・竹スプーン作り、飯ごう炊さん、カレー作りを実施した。参加した子ども達は、ジュニアリーダーズや青少年相談員及び地域の方々の指導の下、大汗をかきながら、一生懸命に作業をしていた。出来上がったカレーをみんなで食べた後は、お楽しみのカンパンプアイヤーとなり、みんなで火を囲んで、レクリエーションを行った。この一日は、子ども達の楽しい夏の思い出になったようだ。



える上でとても参考になる話でした。参加者の親睦を兼ねた昼食会は、サンライズ九十九里のレストラン「はまゆう」で太平洋を眺めながらの楽しいものでした。その後、千葉市緑区あすみが丘東にある「ホキ美術館」で絵画鑑賞をした。この美術館は、日本初の写真画鑑賞です。「光と風をかんじて・・・」展で160点の写真絵画が展示されていた。ゆつくりと癒しの時間を過ごし、地域福祉に頑張る力を得たようでした。再び圏央道外回りで帰途についた。

中富地区の話題

秋だけなわの中、楽しいイベントや地域の団体活動等の話題を拾ってみました。

スポーツの秋・たけなわ!

吉野田保育園

10月12日(土)お天気に恵まれて吉野田保育所の運動会が行われた。今年のテーマは「みんなで楽しむ運動会」でした。当日は大勢の観客の中、子ども達は、かけっこ、綱引き、体操などをして家の人と一緒に体をいっばいに動かして楽しんでいました。



中川幼稚園

9月28日(土)秋晴れの下、たくさんのお客さんや地域の方々保護者が見守る中、恒例の運動会が開催された。芝生の園庭では年少・年長組のペーパ活動を中心に、リレーやお遊戯、玉入れなど子ども達の一生懸命な演技にたくさんの方の拍手や声援が送られ、今年の特別ゲスト、平中吹奏楽部が生演奏で華を添えていた。



「翔翽」魅せろ!平中魂

伝統の第48回平川中学校体育祭が、9月14日(土)に開催された。当日は、台風18号の前日という天候の中、保護者を始めとした多くの観客を集め、総勢300名余の生徒が赤、



青、黄の3色に分かれ、優勝を目指して熱き戦いを繰り広げた。実行委員長が、

「全員が全力で勝負し、見ている人に感動や勇気を与えられる熱い「平中魂」を披露し、最高の体育祭を全員で作りに上げる」と決意表明。リレー、騎馬戦、棒ひきぬ、綱引き等それぞれの競技は決意どおりに熱き戦いとなった。なかでも庄巻は、プログラム最後の平中ソラン「夢限」でした。全校生徒が様々なバリエーションで展開する中、一糸乱れぬ踊りは、伝統と意気を感じました。この平中ソランだけを見るために来校する地域の人も出るのも当然との実感でした。

グラウンドゴルフ大会開催

第7回中富スポーツまつりグラウンドゴルフ大会が10月14日(月)の秋晴れの下、百目木公園で中富地区自治連絡会・中富心れすぽクラブ主催で盛大に開催された。当日



は、中富地区の若男女158名が24チームに分かれて、3コース24ホールのグラウンドゴルフ競技を楽しんでいた。表彰式では、各年代・男女別の成績優秀者及びホールインワン賞や飛び賞などが紹介され、様々な賞品が授与された。関係者の話では、今年の

大会は、例年よりもホールインワン賞が多く出たとのことでした。高齢者の成績では、70歳以上男子の部の1位は上宿区の宗政丈夫さん、女子は同じく上宿区の三幣とし子さんでした。なお、素晴らしいことに宗政丈夫さんは、総合優勝でした。

地域の団体活動

自然を活用した中川ピオトープ

平成19年に中川小学校南側の小櫃川河川敷に、PTA・学校・地域で協力して「ピオトープ」を作りました。ここでは子ども達の自然観察学習、地域の憩いの場として利用している。また、河川敷通りは桜並木になっていて、桜の時期には素晴らしい散歩道となる。この「ピオトープ」では、様々な花や生物を観察できるので、ぜひ立ち寄ってみて下さい。なお、ピオトープ維持管理活動をお手伝いして下さる方を募集しています。



活動日: 第1・第4日曜日の午前9時~11時
問合せ: 中川ピオトープの会・会長 篠原 090-3007-5628

※「ピオトープ」とは、生物の生息できる環境を再現した空間です。

芋掘り収穫祭

去る11月3日(日)午前10時から、横田駅北の畑で中下環境保全会による「芋掘り収穫祭」が開催され、子



どもから大人まで約50人が集まり、さつま芋を掘ったり、焼き芋を食べたりと楽しい秋の収穫祭を実施した。これは、5月の初めに2千本のサツマイモの苗を子供たちや高齢者及び会員と一緒に植え付け、何回も畑に来て草取りなどをして育てたものです。この事業は、農村環境保全活動の一環として中下区住民との交流活動を実施したものです。

伝承された祭囃子の保存活動

山中区の「横田熊野神社祭りばやし保存会」は、この地区に古くから伝承される祭ばやしの保存と後継者養成を目的に活動をしている。設立は昭和57年で、現在まで30有余年の活動の歴史を持ち、普段は、地域の祭礼や山中区鯉のぼり大会など地域で活動をする保存会です。今年度は、青少年健全育成大会や袖ヶ浦市の郷土芸能などのイベントにも積極的に参加してその太鼓と笛の祭ばやしを披露して喝采を得ている。関係者は少子化の中で後継者育成には苦労すると話していた。



編集後記

第3号は、中富地区の秋の様子を伝えようと、編集委員がイベントや団体取材して記事を書きました。これらの活動が地域のまちづくりに役立つことを願います。